

## 竹林整備＋緑地散策

プログラム単独実施

2022年11月13日（日）

### 報告

#### 秋色の緑地の中で活動！

「地域ボランティアプログラム（松木日向緑地プログラム）」として、松木日向緑地の竹林整備活動4回目を実施しました。今回は地域ボランティアプログラム単独での活動で、参加学生は9名（メンバー5名、サポーター4名）で、今年度初参加のメンバーは2名いました。今回は事前にサポーター3名で緑地散策の下見を実施した上で、活動に取り組みました。

地域交流という視点から考えた時、まず自分たち自身が緑地の魅力をもっと知って体感していく必要があるということから、今回は「散策」も取り入れました。

黄金色の落ち葉の絨毯を踏みしめながら小径を少し下り、今回は少し傾斜の緩やかな場所で、3人1組になって、まず竹の間伐に取り組みました。

初参加の2名はサポーターからの懇切丁寧な指導のもと、ノコギリによる伐採作業で竹を受け口・追い口と切って倒し、玉切り・枝はらい、集積の作業を学びました。また、ノコギリは使用后すぐに鞘の中にしまって怪我の予防に十分努めることも徹底して行いました。4回目の竹林整備ということで、太い竹の伐採にもどんどんチャレンジし、倒していく場面が数多くありました。背の高い竹を倒す際には、大声で「倒れます！」と言って注意を喚起し、グループごとに協力して作業を分担し合いました。約1時間の作業で、多くの竹を伐採しました。

#### 竹林伐採と緑地散策の様子



竹林以外にも  
緑地の中には  
魅力が一杯！  
新たな発見も  
ありました。



#### 今回の竹林伐採場所と散策コース



首都大学東京・東京都立大学 ひなたブック製作委員会『ひなたブック』, 2007より

#### みんなで散策～東から西へ～

後半は、緑地を東から西に散策し、美しい景色を堪能しながら、地域交流について考えました。13号館東側練習場脇の竹林にある真竹と孟宗竹が生えているエリアでは、2種類の竹の違いも確認もしました。11号館裏の池で休憩すると、青いカワセミが羽ばたいて、みんなで見とれました。今まで気づいていなかった緑地の魅力に気づけた一日になりました。

#### 参加者の声

- ・ ボランティアの目標の一つとして、伐採技術の伝承があった。今回始めて伐採技術に触れたことで、この目標に一歩近づくことができた。今後はさらなる技術習得に加え、竹林、緑地の知識をもっと身につけられるようにしたい。
- ・ 反省点としては、切り口の方向を熟知しておらず倒す方向を見極めることが難しかった場面があったので、今回の活動を忘れずにその都度復習すべきだと感じた。緑地散策では、歩くたびにに見える・感じる景色が違ってくることが緑地の魅力なので、今後の活動にも散策を採り入れながら少しずつ地域交流の在り方についてイメージを膨らませたい。
- ・ 緑地の新たな発見が数多くあり、改めて都立大の自然の豊かさに驚かされた。まだまだ知らないことも沢山あるし、竹林整備も磨きをかけていきたい。
- ・ 竹林付近と比べて、生命科学科の温室？付近や池の近くの道は、きれいに整備されており日常的に利用されていることがわかった。みんなで探することで、地図をみるだけでは見つけることのできない新しい視点や発見ができた。
- ・ チームで活動できたことが良かった。
- ・ なにげないことも知識によって鮮やかになったりする。